

## デモ表示について

本機は工場出荷時に「デモ表示」に設定してあります。  
デモ表示では時計の機能の一部を自動的に表示し続けます。  
※デモ表示中はライト点灯以外の通常のボタン操作はできません。



### ●デモ表示の解除

⑨ ボタン以外のいずれかのボタンを押します。

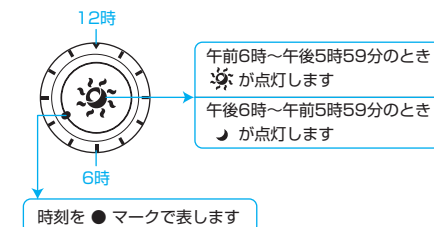
### ●デモ表示の設定

時刻モードのとき、⑨ ボタンを約3秒間（確認音が鳴るまで）押し続けます。

## タイムグラフについて

時刻モードでは、ワールドタイムモードで選んでいる都市の時刻をグラフで表示します。  
ワールドタイムモードでは、時刻モードでセットしている都市の時刻（基本時刻）をグラフで表示します。

＜タイムグラフの見方＞



## ライト点灯について

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも、⑨ ボタンを押すと文字板が約2秒間発光します。

→ 暗いところでも、表示を見ることができます。

※時刻モードのときは、ライト点灯に合わせてアニメを表示します。



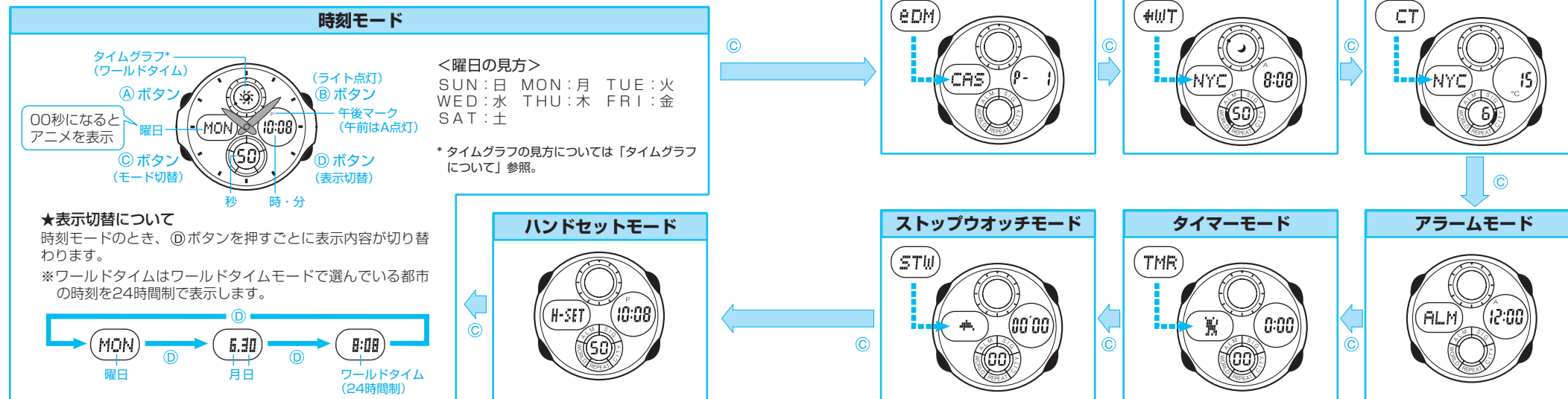
### ■ご注意■

- 直射日光下では発光が見えにくくなります。
- 発光中にアラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

## 操作のしくみと表示の見方（表示例では、アナログ（針）部を省略する場合があります）

⑨ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

※e-DATA MEMORYモード、シティ気温データモード、アラームモードのまま2～3分間すると、自動的に時刻モードに戻ります。



## e - DATA MEMORYの使い方

e - DATA MEMORYモードでは、メールアドレスやホームページアドレスなどのデータを記憶できます。

※ 1 件あたりのデータ内容により、記憶できる総件数が変わります。

- 1 件あたり 63 文字のデータを入力した場合、5 件まで記憶できます (1 件あたり 64 文字以上のデータは入力できません)。
- 1 件あたり 7 文字のデータを入力した場合、40 件まで記憶できます (1 件あたり 6 文字以下のデータでも記憶できる総件数は 40 件までとなります)。

※ e - DATA MEMORYモードに切り替えると、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

◎ ボタンを押して、e - DATA MEMORYモードにします。

### データのサーチ

e - DATA MEMORYモードのとき、◎ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押すごとにページが切り替わります。

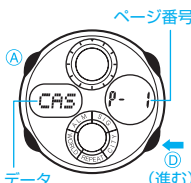
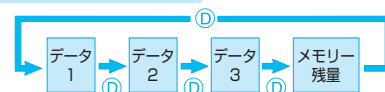
※ 押し続けると早送りします。

※ データを 4 文字以上入力したときは、右から左へ流れて表示されます (データの最後に「**!**」マークがつきます)。  
◎ ボタンを押すと表示が止まり、もう一度 ◎ ボタンを押すと動きだします。

※ データ入力をしたページとメモリー残量のページを表示します。

なお、データを 1 件も入力していないときは、メモリー残量「100%」のページのみ表示します。

例) データを 3 件入力したとき



## データを入力する

(1) メモリー残量のページにする

e - DATA MEMORYモードのとき、◎ ボタンと ◀ ボタンを同時に押します

⇒ メモリー残量のページになります (右図)。

※ 「0%」と表示されるときは、すでにメモリーいっぱいのデータが記憶されています。これ以上記憶できませんので、不要なデータを消しておいてください。

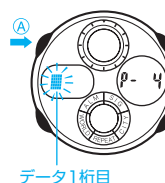
\* 「**■**データの修正/消去」参照。



(2) セット状態にする

◎ ボタンを約 2 秒間押します

⇒ データの 1 桁目が点滅します。

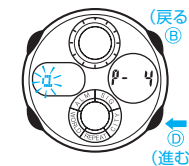


(3) 点滅箇所のセット

◎ または ◀ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字 (数字) が進み、◀ ボタンを押すごとに戻ります。

※ ◎・◀ ボタンとも、押し続けると早送りします。

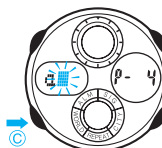


(4) セット箇所を選ぶ

◎ ボタンを押します

⇒ 押すごとに点滅箇所が右に 1 つ移動します。

※ 押し続けると点滅箇所が早く移動します。



(3)~(4)の操作を繰り返して、データを入力します

※ 入力できる文字は以下の通りです。

- 英小文字 a~z
- 英大文字 A~Z
- 数字 0~9
- 記号 \* \_ @ ^ \ / # . : ; ' , " ^ &

(5) セットを終わる

◎ ボタンを押します

⇒ 「SET」表示後、点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま 2~3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

※ 続けて他のデータを入力したいときは、(1)~(5)の操作を繰り返し行ないます。

※ データは入力した順に記憶していきます。

## データの修正/消去

(1) ◎ ボタンを押して修正/消去したいデータを選びます

(2) ◎ ボタンを約 2 秒間押します

⇒ データの 1 桁目が点滅します。

(3) データを修正/消去する

★ データ修正 ⇒ ◎ ボタンを押して修正したい箇所に点滅を移動させ、◎ または ◀ ボタンを押して正しい文字 (数字) を表示させます。

★ データ消去 ⇒ ◎ ボタンと ◀ ボタンを同時に押します。「CLR」表示後、データが消去されます。

※ データ消去後、引き続き他のデータを入力することができます。

※ 点滅表示のまま 2~3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

(4) 修正/消去が終わりましたら、◎ ボタンを押して点滅を止めます

※ データを消去すると、後ろのページが 1 ページずつ繰り上がります。

## シティ気温データの使い方

◎ ボタンを押して、シティ気温データモードにします。

シティ気温データモードでは、世界 30 都市の月別平均最低/最高気温を簡単に知ることができます。

※ シティ気温データモードに切り替えると、前回選んだ都市のデータを表示します。

### 気温データのサーチ

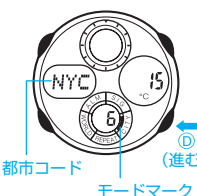
(1) 都市を選ぶ

シティ気温データモードのとき、◎ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押して、見たい都市を選びます。

※ 押し続けると早送りします。

\* 表示される都市コードの順番については「**■**都市コード一覧」をご覧ください。



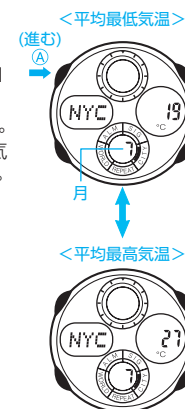
(2) 月を選ぶ

◎ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押すごとに 1 月ずつ進みます。

※ 押し続けると早送りします。

※ 平均最低気温と平均最高気温は交互に表示されます。



## ワールドタイムの使い方

ワールドタイムモードでは、世界30都市（27タイムゾーン）の時刻を簡単に知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市の時刻を表示します。

時刻モードで基本時刻およびホームタイム都市をセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。

\*「時刻・カレンダーの合わせ方」参照。

※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。

※基本時刻を24時間制にしているときは、ワールドタイムも自動的に24時間制で表示されます。

◎ ボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

## 都市のサーチ

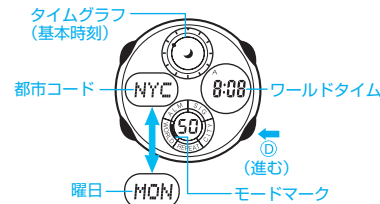
ワールドタイムモードのとき、◎ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押すごとに各都市の時刻を表示します。

※ 押し続けると早送りします。

※ 「都市コード」と「曜日」は交互に表示されます。

※ ワールドタイムモードでは、時刻モードでセットしている都市の時刻（基本時刻）をグラフで表示します。



## サマータイム (DST) について

サマータイムとは DST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

## サマータイムのON/OFF設定

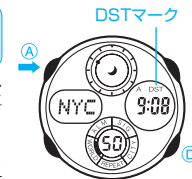
準備：ワールドタイムモードのとき、◎ ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

Ⓐ ボタンを約2秒間押します

⇒ Ⓐ ボタンを約2秒間押すごとにサマータイムのON/OFFが切り替わります。

※ サマータイムがONのときは、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間早まります。

※ 各都市ごとにサマータイムを設定することができます。



## アラーム・時報の使い方

アラームモードでは、時分を設定でき、設定した時刻になると20秒間電子音が鳴ります。

また、毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。

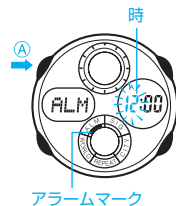
## アラーム時刻のセット

(1) セット状態にする

アラームモードのとき、Ⓐ ボタンを約2秒間押します

⇒ 「時」が点滅します。

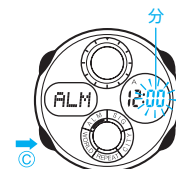
※ アラームマークが点灯して、自動的にアラームONになります。



(2) セット箇所を選ぶ

◎ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」⇔「分」で移動しますので、合わせた箇所を点滅させます。



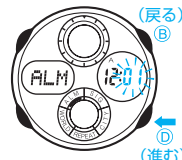
◎ ボタンを押して、アラームモードにします。

(3) 点滅箇所のセット

Ⓐ または Ⓑ ボタンを押します

⇒ Ⓐ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓐ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



(2)～(3)の操作を繰り返して、アラーム時刻を合わせます。

※ 「時」のセットのとき午前 (A) / 午後 (P)、または24時間制にご注意ください。

※ 基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

(4) セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

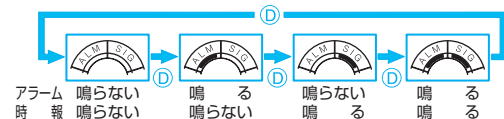
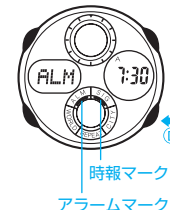
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

## アラーム・時報のON/OFF設定

アラームモードのとき、◎ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押すごとにアラームマークと時報マークが点灯/消灯を繰り返します。

※ それぞれのマークが点灯しているときにONとなり、アラーム・時報が鳴ります。



## 都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
PPG	-11	パゴパゴ	THR	+3.5	テヘラン
HNL	-10	ホノルル	DXB	+4	ドバイ
ANC	-9	アンカレジ	KBL	+4.5	カブール
LAX	-8	ロサンゼルス	KHI	+5	カラチ
DEN	-7	デンバー	DEL	+5.5	デリー
CHI	-6	シカゴ	DAC	+6	ダッカ
NYC	-5	ニューヨーク	RGN	+6.5	ヤンゴン
CCS	-4	カラカス	BKK	+7	バンコク
RIO	-3	リオデジャネイロ	HKG	+8	香港
LON	+0	ロンドン	SEL	+9	ソウル
PAR	+1	パリ	TYO	+9	東京
BER	+1	ベルリン	ADL	+9.5	アデレード
CAI	+2	カイロ	SYD	+10	シドニー
JRS	+2	エルサレム	NOU	+11	ヌーメア
JED	+3	ジェッダ	WLG	+12	ウェリントン

※この表は2002年12月現在作成のものです。

※この表の時差は協定世界時 (UTC) を基準としたものです。

## 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

## モニターアラーム

アラームモードのとき、◎ ボタンを押し続けると、押し続けている間アラーム音が鳴ります。

## タイマーの使い方

タイマーは1分単位で24時間までセットできます。セットした時間を経過（タイムアップ）すると、10秒間電子音が鳴ります。  
また、タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

※工場出荷時および電池交換後は、タイマー時間が24時間“0:00”で設定されています。

### タイマー方法について

本機のタイマーは以下の2種類があり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。

★**リピートタイマー（繰り返し計測）**  
タイムアップすると、計測が止まります。約10秒後にタイマー時間表示に戻ります。

★**オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）**  
タイムアップしても、計測ストップするまで自動的にタイマー時間に戻り、繰り返し計測を行います。  
※オートリピートタイマーを選ぶと、“**REPEAT**”マークが点灯します。

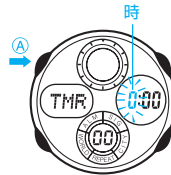
### ◎ボタンを押して、タイマーモードにします。

### ■タイマー時間のセット

#### (1)セット状態にする

タイマーモード（計測リセット状態）のとき、**(A)** ボタンを約2秒間押します

⇒「時」が点滅します。



#### (2)「時」をセットする

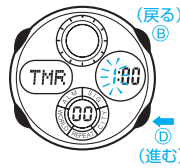
**(D)** または **(B)** ボタンを押します

⇒ **(D)** ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、**(B)** ボタンを押すごとに戻ります。

※ **(D)**・**(B)** ボタンとも、押し続けると早送りします。

※1分単位で24時間までセットできます。

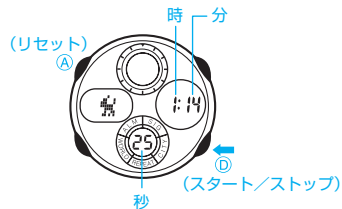
※タイマー時間を24時間に設定するときは、表示を“0:00”にします。



### ■タイマーの使い方(減算計測のしかた)

#### タイマーモードのとき、**(D)** ボタンを押します

⇒ **(D)** ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。  
※計測は1秒単位で行ないます。



★計測ストップ後、**(A)** ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。  
★ロスタイムがあるときは、**(D)** ボタンでストップ後、もう一度 **(D)** ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

### ■タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

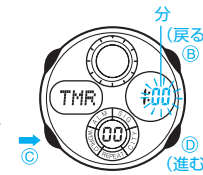
### ■鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

#### (3)「分」をセットする

##### ◎ボタンを押します

⇒「分」が点滅します。  
「分」も「時」と同様に **(D)** または **(B)** ボタンでセットします。



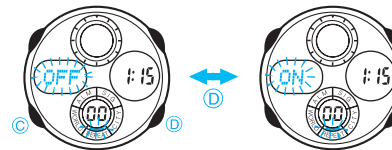
#### (4)タイマー方法を選ぶ

##### ◎ボタンを押してから、**(D)** ボタンを押します

⇒ **(D)** ボタンを押すごとにオートリピートタイマーのON/OFFが切り替わります。

※ OFF = リピートタイマー  
ON = オートリピートタイマー

<リピートタイマー> <オートリピートタイマー>



#### (5)セットを終わる

##### ◎ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。  
※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

## ストップウォッチの使い方

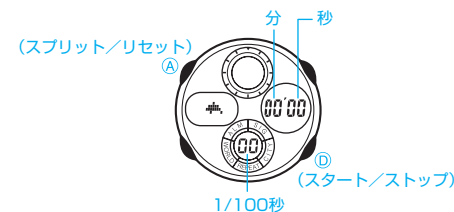
### ◎ボタンを押して、ストップウォッチモードにします。

ストップウォッチは1/100秒単位で59分59秒99（60分計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

### ■計測のしかた

#### ストップウォッチモードのとき、**(D)** ボタンを押します

⇒ **(D)** ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。



#### ●通常計測

**(D)** → **(D)** → **(A)**  
スタート ストップ リセット

積算計測…ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに **(D)** ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

#### ●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

**(D)** → **(A)** → **(A)** → **(D)** → **(A)**  
スタート スプリット スプリット解除 ストップ リセット

#### ●1・2着同時計測

**(D)** → **(A)** → **(D)** → **(A)** → **(A)**  
スタート 1着ゴール 2着ゴール 2着タイム表示 リセット  
(1着タイム表示)

★計測中に **(A)** ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります（SPL表示）。  
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。  
★計測終了後 **(A)** ボタンを押すと、計測値が0に戻ります（リセット）。



## 時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

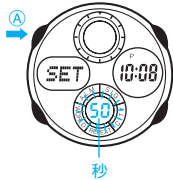
※デジタル部の時刻を修正したときは、必ずアナログ部も修正してください。

### デジタル部時刻・カレンダーの合わせ方

#### (1) セット状態にする

時刻モードのとき、**A** ボタンを約2秒間押します

⇒「秒」が点滅します。



#### (2) 秒合わせ…30秒以内の遅れ／進みの修正

時報に合わせて **D** ボタンを押します

⇒「00秒」からスタートします。

※ 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります(時報は「時報サービス 117番」が便利です)。



### アナログ部(針)の合わせ方

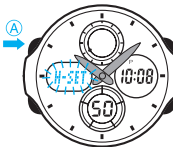
アナログ部の時刻とデジタル部の時刻が合っていないときは、以下の操作で合わせてください。

準備: **C** ボタンを押して、ハンドセットモードにします。

#### (1) セット状態にする

ハンドセットモードのとき、**A** ボタンを約2秒間押します

⇒表示が点滅します。

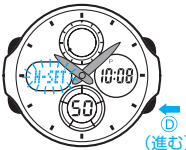


#### (2) アナログ部を合わせる

**D** ボタンを押します

⇒ **D** ボタンを押すごとに時計回りに1/3分(20秒)ずつ進みますので、アナログ針を合わせます。

※ 押し続けると早く進みます(針は逆方向には進みません)。



以下の操作は時刻モードで行ないます。

#### (3) サマータイム (DST) の ON / OFF を選ぶ

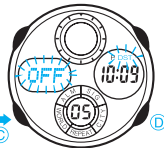
**C** ボタンを押してから、**D** ボタンを押します

⇒ **D** ボタンを押すごとに ON / OFF が切り替わります。

※ サマータイムを ON にすると、通常の時刻より1時間早まり、時刻モードとアラームモードで DST マークが点灯します。

※ OFF = サマータイム OFF (通常時間)  
ON = サマータイム ON (夏時間)

\* サマータイム (DST) については「**■サマータイム (DST) について**」参照。

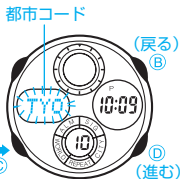


#### (4) ホームタイム都市を選ぶ

**C** ボタンを押してから、**D** または **B** ボタンを押します

⇒ **D** または **B** ボタンを押すごとに都市コードが切り替わります。(「**■都市コード一覧**」参照)

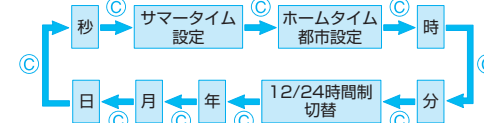
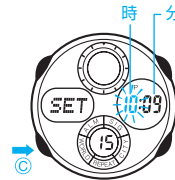
※ **D** ・ **B** ボタンとも、押し続けると早送りします。



#### (5) 「時刻・カレンダー」合わせ

##### a. **C** ボタンを押します

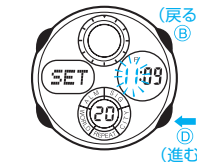
⇒ **C** ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



##### b. **D** または **B** ボタンを押します

⇒ **D** ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、**B** ボタンを押すごとに戻ります。

※ **D** ・ **B** ボタンとも、押し続けると早送りします。



a. ~ b. の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※ 12/24 時間制切替は、**D** ボタンを押すごとに 12 時間制表示 (12H) と 24 時間制表示 (24H) が切り替わります。

※ 「時」のセットのとき、午前 (A) / 午後 (P)、または 24 時間制にご注意ください。

※ 「年」は 2000 ~ 2039 年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

#### (6) セットを終わる

**A** ボタンを押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま 2 ~ 3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

#### ★ 針の自動早送り

**D** ボタンを押し続けて早送り中に **B** ボタンを押すと、ボタンを離しても針が進み続けます。

※ 自動早送りは時計針が一回りするか、いずれかのボタンを押すと止まります。

#### (3) セットを終わる

**A** ボタンを押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま 2 ~ 3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

※ 操作のタイミングにより、針が少し遅れることがあります。このようなときは、もう一度セット状態にしてから針を 1 ステップか 2 ステップ進めてください。